

チェルノブイリ子ども基金設立 20 年

# 講演 チェルノブイリと福島



チェルノブイリ事故後、死の街となったプリピャチ市  
2011年2月撮影(左)  
福島原発震災 南相馬市 2011年3月撮影(右)



チェルノブイリ事故から 25 年の今年、  
当基金は設立 20 年を迎えた。  
3・11 福島原発震災が起こり、放射能と共に  
生きていかななくてはならなくなつたいま  
チェルノブイリと福島を語る。

## チェルノブイリと福島の人々

### 広河 隆一

当基金設立者・顧問、  
フォトジャーナリスト、  
『DAYS JAPAN』編集長



### 放射能から子どもを守る

### 黒部 信一

当基金顧問、小児科医、  
未来の福島こども基金代表



- 転地療養と家族訪問の報告  
“チェルノブイリ汚染地域に暮らす子どもたち”  
佐々木 真理 当基金事務局長

日時 **11月20日(日)** 14:00 ~ 17:00 (13:30 開場) 資料代 500 円

場所 **明治大学リバティホール 1001 教室** JR・東京メトロ 御茶ノ水駅より徒歩 5 分

主催 チェルノブイリ子ども基金 / 現代史研究会

問合せ先 チェルノブイリ子ども基金 事務局 Tel/Fax : 03-5228-2680 E-mail : cherno1986@tokyo.email.ne.jp